Rural Mission Human Rights 農
農村伝道神学校後援会だより　NO. 97

牧会生活37年を省みて

迫田康洋（石津教会牧師）

写真は筆者と迫田満寿枝牧師

私は、本校の27回生（1977年卒）です。

本校卒業後、主イエスのお導きにより、日本基督教団安城教会（中部教区愛知東教区）に主任担任教師として妻満寿枝（26回生）と共に赴任しました。着任３週間前の３月９日、「不審火」のために会堂全焼、牧師館半焼という突然の試練を与えられました。この出来事は農伝卒業直後の未熟な私達夫婦にとりまして「試みの石」でした。しかしこのことは、私どもと安城教会員とが共同の歩を歩むための必要不可欠な「神の御計画」でした。牧会経験のない新米伝道者にとってこの想定外の出来事は、「今は恵みの時、今こそ救いの日」との御言葉を深く体験できました。主イエスの御導きにより、１年後には新会堂が与えられました。

処で安城教会は、1957年当時、安城市内にあった二つの基督教集会が合同して新たに選任牧師（村上　伸牧師）を迎え、「日本基督教団安城教会」として再出発したものです。この教会設立の背後には、日本基督教団宣教基礎理論（1963年）の先取り的発想がありました。東京の西片町教会（鈴木正久牧師）が伝道圏伝道の候補地を探していた時、この安城の地が候補に上がったのです。当時の安城は「日本のデンマーク」と呼ばれ、近代農業のモデル的存在でした。西片町教会は、農村伝道・農村教会と連帯、共に生きる教会として安城を選ばれたのです。用地の取得及び会堂建築、選住牧師の派遣など、愛知東地区と連携して支援して下さいました。この安城教会誕生の過程を思う時、今秋の教団総会で審議が予定されている「改定宣教基礎理論草案」のことを思わずにはおれません。

50年前に制定された教団の宣教基礎理論この中身（教会の体質改善と伝道圏伝道）の間違いを改めるものとして「改定」されるようですが、その「改定理由」には異議があります。「改定」の必要を求める人達は、この50年間、「教会の体質改善と伝道圏伝道の実質化」をどのように見ておられるのでしょうか。このように思っているのは私一人だけではないと思います。

この安城教会で26年間伝道牧会をさせて戴きました。

この時代の愛知東地区は、神学的にもバランスのとれた「居心地の良い地区」でした。地方教会にとって短期間の牧師交替は、その教会の「熱意と力」とを奪うケースが多いことだけは確かです。

2003年４月、安城教会を辞して現在の大阪教区南海地区の石津教会（大阪堺市）に転任し、現在11年目を迎えています。この大阪教区には148の教会・伝道所があります。

1970年に大阪で開催された「日本万国博覧会へのキリスト教館」を巡る激しい議論・対立により、10年間の間教区総会を開催出来ませんでした。この間、真剣な議論が忍耐強く積み重ねられ、総会開催に向けられての準備委員会も70回に及び、多くの教区関係者の熱い祈りと努力が続けられました。そして1980年に開催された臨時教区総会で、第３号議案「教区問題設置に関する件」が審議され、２年後の教区総会において、「①福音理解・聖書理解・教会理解は、多様性に富んでいるなか、それぞれの相手の立場を尊重し、今後異なる意見にも耳を傾け、対話を深めていくこと。②対話による相互理解の中から、新しい大阪教区の宣教課題を見出し、担っていく。」を内容とする所謂、「大阪教区の３号議案の精神」が決議されました。

以来2006年まで毎年、教区総会の度に「３号議案を継続する件」が承認・可決され、2007年の教区総会で「大阪教区の主にある一致と前進のために」（３号議案の精神を成文化したもの）を総会の度毎に教区書記が朗読することを決議し現在そのように行われています。

「合同教会」として誕生した日本基督教団は、本来的にそれぞれの教会の伝統を尊重し、お互いの違いを受け容れあい、「キリストの体の肢体的存在」であることをわきまえ、キリストの愛に生かされる「神の民」です。「自由で、明るく、思いやりのある教会・教区・教団の形成」が教団の本来の目標ではないのでしょうか。

処で、石津教会は前任者（初代）の大野小康牧師（本校５回生）が38年の長きにわたって伝道牧会された教会です。来年には教会創立50周年を迎えます。

1965年に市内の日本基督教団堺教会（斉藤敏夫

牧師）からの「株分け」により誕生しました。以来49年間、石津の地にキリストの福音の種を蒔き続けて来ました。現在、教会員の高齢化により様々な試練の中におかれています。また，石津教会への就任と同時に、私は堺市人権推進協議会宗教部会の常任理事を、妻満寿枝は大阪刑務所教誨師の役職を与えられ、現在まで貴重な体験をさせて戴いています。「宗教部会」は、堺市内の仏教、天理教、神道、キリスト教等の宗教者の集まりで、特に部落差別問題、人権侵害問題等と取り組んでいます。

終りに、私は広島県の山村の農家の出身なので福音宣教の問題を考える際、どうしても日本人の精神構造、特に宗教観が「無宗教」にあると思っています。「日本人はなぜ無宗教なのか」（阿満利麿著、2009年、ちくま新書）を読んで大きな示唆を与えられました。「無宗教」だからと言って宗教心がないわけではなく、欧米人が言う「無神論者」でもありません。伝統的宗教の教義への無関心、自然宗教（神道、天皇教）の超越（最上位）と言う意味です。このような日本特有の宗教感覚は明治政府の政策によって創り出されました。伝統宗教の教義は骨抜きにされ、国民の祝日・休日は「皇室行事」や儒教に由来しています。強いて言えば、その教義は「墓参り」です。「墓参り」を通して心の平安を確保するわけです。これが「無宗教」の実態です。いかにして「この問題」を克服したらよいのでしょうか。

私は数年前から加齢黄斑変性症との診断を受け、以前に増して「読み書き」することが「重労働」になりました。今年の２月には「視力障害４級の手帳」をもらいました。礼拝・葬儀などは、妻満寿枝が式文、私は説教を担当しています。不十分ではありますが、与えられた日々を大切に生きたいと願いと願っています。

また農村伝道神学校をお支え下さる皆様のお働きが祝されますよう祈っています。

農伝グッズご利用の方の声を伺いました

―農伝グッズをお求めの皆さんにグッズについてのご感想やご利用についてのお話を伺いました。―

九州のおばあちゃん
タケのこま、キジの笛、ドングリけん玉など、
昔の縁日のような楽しいグッズに近所の
お子さんや、孫達がとても喜びました。お陰様で
おばあちゃんの株が少しあがりました。感謝です。
これからも楽しいグッズ、利用したいと思います。

「農伝グッズリスト」を見て、面白い!と思いました。
アイデアの提案や、製作参加を呼び掛けていましたので
「是非」と思いましたが、取りあえずアレコレ送って頂き
ました。いつかアイデアの提案が出来たらと思います。
農伝、応援しています。　　神奈川県　匿名

新潟県　伊藤　武子

今「山野草写真はがき」を利用しています。主に「信徒の友」の日毎の糧で記されている教会に、月四～五回教会婦人会として、このはがきを利用しています。
「きれいな絵ですね、ありがとうございます」という返事を頂くこともあります。
また、丸木の十字架がとても気に入っています。先月、地区教会婦人連合総会の時に、ミニバザーとして初めて持参しました。また来月行われます教区の、教会婦人連合総会時に出店するつもりで大量に注文致しました。
「竹コップ」も良いですね。塗り物？汚れ落ちは？等々考えていましたが、先ずは注文して使ってみようと思います。竹コップと長ーいお付き合いが出来れば嬉しいです。グッズ利用の楽しみが一つ増えました。作り手の皆さんに感謝！使い手で頑張りたいと思います。皆様は、どの様に利用されていますか。お聞かせ頂ければ幸いです。

農伝グッズに関しまして皆様の声をお聞かせ下さい。また「農伝グッズリスト」ご希望の方は、農村伝道神学校事務室までご連絡下さい。（TEL　042－735－5775）

後援会活動・献金状況の報告とお願い

後援会は2013年度も多くの皆さんのご支援により、農村伝道神学校の大きな支えとなりました。皆さんのご支援、お支えを心から感謝いたします。

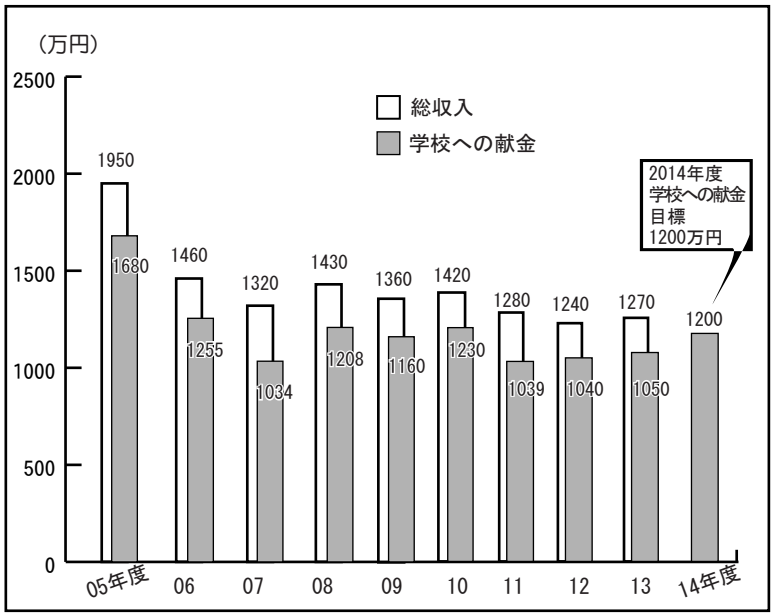
2013年度も例年通り、神学校を覚えて頂き、お支えを頂くため「後援会だより」を6月、9月、11月、3月の4回発行し、約1,500の教会・諸団体と約1,700人の個人後援会員へお届けいたしました。

また、「ひとつぶ献金活動」にご参加ご登録頂いている47教会へ毎年、活動へのお願いと「ひとつぶ献金袋」をお届けし多くの教会・諸団体としての活動を頂いております。

更に、これまでも皆様にご利用頂いております農伝グッズを充実し、お求め頂きやすいように「農伝グッズリスト」（小冊子）として後援会だより11月号と共にお届けしました結果、従来に増して沢山のご利用を頂いております。

これら1年間の活動を通して農村伝道神学校を覚え多くのお支えを頂き、2013年度総収入は1,270万円でした。神学校への献金を1,050万円捧げました。（総収入は献金、グッズ販売などで、神学校への献金との差は、後援会だよりなど印刷費、郵送費、事務費など経費です）以下に後援会年間会計報告、2014年度の目標などをご報告致します。

近年の献金推移



2014年度学校への献金目標を1,200万円としました。これは、神学校年間予算の約40％を支える目標であります。

大変重大な目標ではありますが、神学校の大きな計画を支えて参りたいと存じますので、引き続き後援会献金、神学校日献金、クリスマス献金、イースター献金、誕生日等記念日献金など、どうぞ宜しくお願いいたします。

またひとつぶ献金活動への参加、グッズを用いての「のうでん」ＰＲなど引き続きお支え下さいますよう宜しくお願い致します。

2013年度農村伝道神学校後援会会計報告

2013年４月１日～2014年３月31日

収入の部（単位：円）					支出の部（単位：円）		
費　目	2013年度		前年度		費　目	2013年度	前年度
	件数	金　額	件数	金　額			
後援会費（団体）	92	1,264,800	95	1,681,877	神学校献金	10,500,000	10,400,000
〃（個人）	227	1,838,440	263	2,285,000	通信費	590,155	588,173
記念日献金（団体）	309	3,973,200	318	4,116,429	印刷費	444,030	619,295
〃（個人）	252	3,380,800	237	2,679,750	事務費	370,238	495,961
ひとつぶ献金	38	1,344,076	43	1,191,827	グッズ材料費	32,335	34,762
グッズ他	－	318,200	－	243,000	その他	32,753	3,325
繰越金	－	590,712	－	637,645	振替手数料	101,890	103,300
					繰越金	638,827	590,712
合　計	918	12,710,228	956	12,835,528	合　計	12,710,228	12,835,528

2014年度　農村伝道神学校後援会会計報告

2013年３月1日～５月31日（　）内の数字は回数で、金額はその合計です。

後援会献金（団体）

川和教会	10,000
京都丸太町教会	5,000
埼玉新生教会	10,000
下谷教会婦人会	20,000
信濃町教会聖和会	10,000
信濃町教会婦人会	30,000
十二使徒教会	10,000
巣鴨ときわ教会女性の会	5,000
高崎教会	3,000
日本基督教団千葉支区婦人部	10,000
東広島教会	3,000
久が原教会	5,000
聖ヶ丘教会	20,000
ひの木教会	3,000
復活之キリスト教団	50,000
穂高教会	50,000
水口教会	4,000
むさし小山教会	3,000
八重山中央教会	30,000
ユーカリが丘教会	5,000
竜ヶ崎教会	15,000
六角橋教会	30,000
合計22件	
金額	331,000

後援会献金（個人）

青木　俊介	5,000
東　寿子	2,000
井上したふ	3,000
植西　光雄	20,000
太田一男・結子	4,000
加藤久幸・加藤輝勢子	20,000
狩野登美子	5,000
河野　通久	3,000
菊地　幸子	10,000
小泉　晴子	5,000
小林晃・順子	4,000
魚屋　茂	10,000
佐々木和子・英之助	3,000
佐々木喬敏	5,000
三宮　千枝	3,000
関根浩介・譲	10,000
竹村　倫子	10,000
田中　暉彦	5,000
田中　洋一	5,000
田辺　義宣	5,000
丹波　菊井	10,000
中山　和子	5,000
二川　敏子	3,000
八田満千子	5,000
服部千賀子	3,000
福島　一夫	80,000
福本　光子	10,000
藤原一二三	3,000
古川　力也	10,000
牧野　邦久	5,000
松本眞理子	5,000
三木キン子	10,000
峰晴　玲子	2,000
三原　仁子	10,000
向井　恒夫	5,000
山川　幹夫	10,000
山口里子・雅弘	10,000
山崎　孝子	1,000
渡邊　文朗	320
渡辺　峯	5,000
合計40件	
金額	329,320

記念日他献金（団体）

会津農村伝道センター	5,000
秋南教会	10,000
栄冠こども園	10,000
江刺教会	5,000
大船教会	5,000
荻窪教会ラオス会	5,000
亀戸教会	5,000
久留米東町教会	5,000
高座渋谷教会	4,000
国分寺教会	30,000
佐敷教会	3,000
三軒茶屋教会	20,000
逗子教会	20,000
世真留教会	5,000
大正めぐみ教会	3,000
丹波新生教会	10,000
鶴川シオン幼稚園クローバーの会「農伝支援バザー」	270,000
鶴川シオン幼稚園卒業対策委員会	12,580
戸塚教会	5,000
なか伝道所	10,000
日進教会	5,000
二宮教会	10,000(2)
日本基督教団石川地区教会婦人連合	21,350
白鷺教会	10,000
禾田山地の塩伝道所	2,000
東長崎ウェスレー教会	5,000
広島南部教会	2,000
福岡女学院教会	5,000
藤沢教会	26,922
船越教会	10,000
本多記念教会	10,000
丸岡栄光学園幼稚園	5,000
水元教会	6,300
明治学院中学校東村山高等学校	30,000
弓町本郷教会	10,000
よきサマリヤ人伝道所	30,000
合計37件	
金額	631,152

記念日他献金（個人）

赤嶺　珠子	3,000
市村　翠	5,000
伊藤　武子	30,000
井上　彰三	3,000
岩間美佐子	3,000
大久保　進	5,000
大嶋　果織	5,000
大仲　朝江	10,000
奥田美知子	3,000
鹿島　正安	2,500
樺澤　幸雄	3,000
故・内田美佐子永眠記念河原田美哉子	1,000,000
北沢　栄	5,000
木下　良子	3,000
木下忠司・久美子	5,000
清田　勝義	2,000
久保　博夫	3,000
郡　定雄	3,000
小林利明・恒子	3,000
櫻井　淳子	5,000
下屋敷統大	1,000
須藤　保	5,000
関　とも	5,000
関本　達也	1,000
千成　輝美	3,000
髙島　昭子	2,000
髙橋　恭子	3,000
田村　典子	2,000
土井　道子	3,000
長沢　道子	5,000
中野　昭子	10,000
西川　幸作	10,000
長谷川三和	2,000
坂　敬夫	1,500
福井　智	10,000
福島　静代	1,000
藤野　泠子	3,000
藤村　誠	5,000
本多　明美	3,000
丸山　是	2,000
望月るり子	870
森　節子	2,000
渡辺　重義	5,000
渡辺　晴美	3,000
渡辺志津枝「農伝を支えるジャム」	45,600
渡辺寿美子	5,000
和納由香理・卓弘	2,000
匿名	500
合計49件	
金額	1,242,970

ひとつぶ献金

厚別教会	31,300(2)
生田教会	51,500
石津教会	49,200
荻窪教会	72,300
上大岡教会	10,000
軽井沢追分教会	6,300
川和教会	15,000
世真留教会	13,200
鶴川北教会	49,900
鶴川教会	28,000
東梅田教会	70,300
日野台教会	24,000
松本教会	8,560
松本筑摩野伝道所	15,000
まぶね教会	18,400
横浜二ッ橋教会	19,300
竜ヶ崎教会	20,700
合計18件	
金額	502,960

事務局だより

梅雨の中、恵みの雨とは言え集中豪雨が多発する昨今、紫陽花や立葵の花が穏やかに咲きつつこの季節が過ぎますよう心から祈り、後援会だより９７号をお送り致しました。

1ページは、本校卒業の迫田牧師にお書き頂きました。先生は在学中より視力が弱く大変ご苦労をされつつ、読書の鬼でもありました。37年間の牧会生活を通し酷使されたのでしょうか。ご無理をお願いし今回お書きいただきました。有難うございました。

石津教会も「ひとつぶ献金活動」にご参加頂いておりますが、石津教会では、長老のお一人が、袋を用意し個人の毎月（１００円/一口として）定額の献金を集積し、お捧げ頂いているとのお手紙も頂きました。

２ページの「農伝グッズ」につきましては、後援会として手さぐりで製作し、皆様にお求め頂いておりますが、ご使用に耐え、農伝ＰＲにお用い頂くに足るグッズであるかがとても心配です。今回グッズをお求め頂いている方々にご意見、ご感想を頂きました。今後の参考や皆様のご利用のヒントにして頂けたら幸いです。また、新グッズへの提案や製作へのご参加もお待ちしております。

新年度に入り３ヶ月が過ぎましたが今、学校に異変？が起きています。ストーン記念館（校舎）には３つの教室がありますが、度々満員で休憩時間帯のロビーは学生や聴講生で賑わい、テーブル毎に会話が盛り上がっているようです。今までに余り見掛けない学校の様子に何か嬉しくなりました。後援会の重さや、学校の様子を皆様にお伝えする重大な役目を改めて認識致しました。

どうぞ、農伝を今後共お支え下さいますよう宜しくお願い致します。お健やかに過ごされますようお祈りいたします。

（後援会事務局）

2014年度後援会会計報告

2013年4月1日～2014年5月31日現在

収　入（献金・他）					前年同期比（%）
献金区分	2014年度(4月～5月)		前年度同期		
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
後援会費（団体）	9	213,000	9	160,000	133
〃（個人）	30	267,000	32	195,500	137
記念日他献金（団体）	11	398,272	9	276,700	145
〃（個人）	28	133,500	22	102,000	130
ひとつぶ献金（団体）	7	186,460	9	196,400	95
グッズ		29,350		17,650	166
合　計	85	1,227,582	81	948,250	129

発行　農村伝道神学校後援会
会　長　島しづ子
事務局長　古川力也

〒195-0063 東京都町田市野津田町2024
TEL 042-735-5775　FAX 042-735-5711
E-ﾒｰﾙ：noden@pony.ocn.ne.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://www11.ocn.ne.jp/~noden/
振替番号　00120-6-24418